

質問 震度計更新事業は、移設工事等を行うとのことであるが、移設場所と工事のスケジュールを伺う。

答弁 計測震度計の設置場所は、本庁舎敷地内の南西側の民地に隣接する地上部を予定している。スケジュールとしては、4月から契約準備に着手し、新たな震度計、新たな設置場所での計測は、機器の納期に左右されるが、年度内での稼働を予定している。

質問 東村山都市計画道路3・4・13号線、3・4・21号線の整備について事業の進捗状況を伺う。

答弁 令和元年5月に事業認可を取得した第1工区(幸町区間)は、令和6年2月末時点で全体の約9割の物件補償調査を終え、事業用地は全体の約8割、約4,851平方メートルを確保している。次に、令和2年8月に事業認可を取得した第2工区(小山・本町区間)は、同じく2月末時点で全体の約7割の物件補償調査を終え、事業用地については全体の約3割、約3,081平方メートルを確保している。

質問 带状疱疹ワクチン接種は、令和5年11月より都補助を活用して約半額の助成が開始された。生ワクチンについては1回の接種、不活化ワクチンについては2回。どちらかを選択し、補助は一回とのことだが、接種の状況は。

答弁 令和5年11月から令和6年2月までの状況は、生ワクチンを接種した方が102件、不活化ワクチンを接種した方が439件、合計で541件の申請があり、助成している状況である。

質問 令和6年度より保育所での一時預かり事業の対象をゼロ歳児に拡大するとのこと、準備のための予算が計上されているが、内容は。

答弁 ゼロ歳児対応のための準備経費に対する補助で、拡大に必要な備品や消耗品の購入等を対象とし、1事業所上限100万円を見込んでいる。

質問 わくわく健康プラザ屋上防水改修工事の概要は。

答弁 令和4年度に行った建築基準法に基づく定期調査の結果、東京都多摩建築指導事務所より改善指導書が出されたため、改善計画書を提出した上で、5年度に、工事実施設計委託を実施し、6年度にわくわく健康プラザ屋上防水改修工事を実施する。工事内容については、改善指導書において「屋上面について防水面全体に劣化あり、防水に水の浸入あり」という内容であったため、わくわく健康プラザの屋上面全面についての防水工事となる。

質問 男性の家事・育児参加促進冊子の作成について、作成に至った経緯は。

答弁 東久留米市第4次男女平等推進プランの施策として、男性の家事、育児、介護、地域活動への参加促進、固定的性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発が位置付けられており、プランに基づき取組を進めている。そうした中で、東京都の補助事業を活用し、令和5年度から令和7年度までの3年間、男性の家事、育児参加の促進、固定的性別役割分担意識の解消に向けて、継続的な取組を進めており、夫婦で協力し合いながら家事や育児を行うための情報を分かりやすく掲載した冊子を作成することとした。

令和6年度予算の主な継続・拡充事業

事業名	予算額
震度計更新工事	1,571万5千円
向山緑地公園整備実施設計	2,035万円
わくわく健康プラザ屋上防水改修工事	1億6,720万円
東村山都市計画道路3・4・13号線及び3・4・21号線整備事業	9億1,282万円
道路舗装補修工事等	2億1,099万1千円
带状疱疹ワクチン任意接種助成	3,462万9千円
小山学童保育所増改築工事	1億260万8千円
男性の家事・育児参加促進のための講演会及び地場産野菜の収穫と料理教室の開催等	821万2千円
一時預かり事業補助金(ゼロ歳児対応のための準備経費補助)	100万円
小・中学校用務業務委託	7,973万8千円

市議会立憲民主

激変期に堅実で挑戦的な市政運営を

市長就任から早くも3回目の予算審査となった。現在に至るまで、「あんしんして暮らせるまち」の実現に向け、政策の柱となる3つの重点事項を中心とし

て、着実に事業の検討・実現を図ってきており、堅実で真つすべな政治姿勢とそとの取り組みを高く評価する。一方、高齢化に伴う介護・医療費の増加や物価高、子育て・教育分野の無償化等、今後の市政運営はより厳しさを増す。また地域力が減退する中、災害対策は待ったなしの状況にある。

よって、市長の政策の柱を基本に財政改善や子育て・教育等こともたちへの投資をさらに加速させるとともに、社会情勢の変化に伴う課題に対し、世論の動向や市民ニーズへも配慮した市政運営が重要となる。この最も困難な市政運営を市長に求め、一般会計予算案ほか4議案に賛成する。

東久留米維新の会

厳しい予算編成の中での重点事業の実施を評価

令和6年度の予算編成は、厳しい予算編成だったと推察される。一般会計に財政調整基金を約12億5千万円投入したことで、7年度以降を考えると心もとない残

高見込みである。今後、さらなる行財政改革に取り組んでいかなければいけない。その様な中で、市長の掲げる「あんしんして暮らせるまち」に向けた取り組みがバランスよく予算化されている。「未来志向の公共施設マネジメント」の関連予算、電子請求システムの導入などのデジタル化推進予

い。その上で、どのよう地域を未来を描いていくのか、そのためにはどうしていくのか、市としてのシナジープロモーションに取り組んでほしい。

市民サービスが滞ることなく進められ、市民生活の向上を何よりも優先に捉えるべきと考え、予算案に賛成する。

都民ファーストの会

市民生活の向上を何よりも優先に！

令和6年度一般会計予算案、3特別会計予算案並びに下水道事業会計予算案に賛成の立場を表明する。財政が厳しい中で待ったなしのデジタル化、公共施

設マネジメントなどのインフラ整備、また少子・高齢化による福祉や教育への取り組みと、実施してきた業務を踏まえ、一定の理解と評価をしている。

これからの市政運営には、市民に情報を正確かつ迅速に伝え、市民自らにも政策形成過程に積極的に参画していただくことも欠かせない。

不登校問題やいじめ対策に関する市の予算は十分であるとは言えず、課題である。今後の課題は残しつつも、本予算案は一定評価できるものと考え、一般会計予算案に賛成する。

また、3特別会計予算案および下水道事業会計予算案については、意見を付すことなく賛成する。

国民民主党

昨年度より改善傾向へ！子育て環境

令和6年度は、ゼロ歳児の一時預かり保育やおむつの配布事業、宿泊を伴う産後ケア、義務教育就学児医療費助成に係る所得制限の撤廃などの子育て支援策が

予算計上されている。これらが実施されれば、本市の子育て環境は改善傾向に向かい、子育て世代にとって大変喜ばしいものと考えられる。しかし、いまだ課題もある。特に高校生の医療費助成に所得制限がある点や、学校に関する予算にも教育面での支援が少ない状況にあると言えらる。とりわけ、